htc EVO 3D

ISW12HT

クイックスタートガイド

ごあいさつ

このたびは、HTC EVO 3D ISW12HT（以下、本製品と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『クイックスタートガイド』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『クイックスタートガイド』を紛失されたときは、au ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo
『クイックスタートガイド』（本書）では、主な機能の主な操作のみ説明しています。さまざまな機能のより詳しい説明については、au ホームページより『取扱説明書』をご参照ください。

※ 本書では本製品に付属するクイックスタートガイドおよび設定ガイド、取扱説明書（詳細版）を総称して『取扱説明書』と表記します。

取扱説明書アプリケーション
本製品では、au 電話本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。

取扱説明書ダウンロード
『クイックスタートガイド』（本書)、『設定ガイド』、『取扱説明書（詳細版)』の PDF ファイルを au ホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

※『取扱説明書（詳細版)』の PDF は、以下の方法でもダウンロードできます。
ホーム画面で [アイコン] ＞ **取扱説明書**をタップ

オンラインマニュアル
au ホームページでは、『取扱説明書（詳細版)』を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。
http://www.au.kddi.com/manual/index.html

For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

『取扱説明書（英語版）』を au ホームページに掲載しています（発売後約 1ヶ月後から）。

Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

● サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
● 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
● 本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。）
● 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
●「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
● 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
● お子様がお使いになるときは、保護者のかたが『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車運転中・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

目次

安全上のご注意

ISW12HT の使いかた

auのネットワークサービス／インターネット

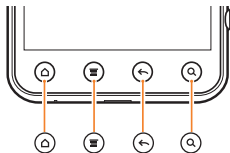
付録

機能別目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作するメニューの項目／アイコン／画面上のキーなど、太字で表記しています。
また、本書では縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

例：着信音を設定する場合

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** > **サウンド**をタップ
2. **着信音** > 着信音を選択 > **適用**をタップ

> ***memo***
> - 本書では「microSD ™メモリカード」および「microSDHC ™メモリカード」の名称を、「microSD メモリカード」と省略しています。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

● 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
● 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

● 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

● 事故や本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、本体や microSD メモリカードに登録されたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

● お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、コンピュータのハードディスクなどに保存したり、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本製品の故障や修理、機種変更やその他取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず、当社としては一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

● 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損に関して、当社ではデータの復旧・回復作業は行っておりません。特に microSD メモリカードのサンプルビデオに関してはデータの復旧や回復ができませんのでご注意ください。

※ 本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：HTC Corporation

パケット通信料についてのご注意

● 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。

- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※ Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

※ WiMAX 機能をご利用いただく場合、別途月額利用料がかかります。

Android マーケット／ au one Market ／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

● アプリケーションによっては、microSD メモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
● アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。

安全上のご注意
(必ずお守りください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■本体、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険 **必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
本製品専用および共通周辺機器

- 電池パック（HTI12UAA）
- 共通 AC アダプタ 03（0301PQA）（別売）
  共通 AC アダプタ 03 ネイビー（0301PBA）（別売）
  共通 AC アダプタ 03 グリーン（0301PGA）（別売）
  共通 AC アダプタ 03 ピンク（0301PPA）（別売）
  共通 AC アダプタ 03 ブルー（0301PLA）（別売）
- microUSB ケーブル 01（0301HVA）（別売）
  microUSB ケーブル 01 ネイビー（0301HBA）（別売）
  microUSB ケーブル 01 グリーン（0301HGA）（別売）
  microUSB ケーブル 01 ピンク（0301HPA）（別売）
  microUSB ケーブル 01 ブルー（0301HLA）（別売）
- HTC HDMI 変換コネクタ（HTI12HWA）（別売）

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電している場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

指定の AC アダプタ（別売）をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

金属製のストラップやアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に電池パック、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。au ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。）万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の AC アダプタ（別売）の電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、有償修理となります。

禁止

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をお止めください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

指示

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどするときや、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠注 意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因になる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の AC アダプタ（別売）をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、au ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合などもそのまま使用せず、au ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本体・指定の AC アダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

禁止

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

■ 本体について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示

航空機内での携帯電話の使用（機内モード含む）は法律で禁止されています。航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたす可能性がありますので、本製品の電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器からの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品の電源をお切りください。本製品とパソコンを指定の microUSB ケーブル（別売）で接続すると、本製品の電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品の電源をお切りください。
- 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

撮影ライト（フラッシュライト）をご使用になる場合、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト（フラッシュライト）点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト（フラッシュライト）を点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師とご相談ください。

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

イヤホンマイクやハンドストラップなどを持って本体を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

夏期に閉めきった車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。本体が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、本体が変形し故障の原因となる場合があります。

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
ディスプレイ	ガラス	ノングレア処理
外装ケース（ディスプレイ枠部および側面）	ABS 樹脂	UV 硬化処理
電池フタ	ポリカーボネート／ ABS 樹脂	UV 硬化処理
カメラレンズ	アクリル樹脂	ノングレア処理
音量ボタン／電源ボタン	ABS 樹脂	UV 硬化処理
カメラボタン	アルミ	アルマイト処理
2D/3D カメラ切替スイッチ	アルミ	アルマイト処理
受話口	メタル	UV 硬化処理

使用箇所	使用材料	表面処理
3.5mm イヤホンジャック	アルミニウム	－
フラッシュライト	ポリメタクリル酸メチル樹脂	アンチリフレクションコーティング
外部接続端子	ステンレス	メッキ処理
カメラレンズ周り	アルミニウム	UV 硬化処理

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

メモリカードスロットに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

外部接続端子やイヤホン端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口・送話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となるおそれがあります。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■ 電池パックについて

本製品の電池パックはリチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックを本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分にご確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

分解禁止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックを本体から取り外すときは、電池パックのくぼみ部分を持ち、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに本体の電源を切り、電池パックを外して au ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 指定の AC アダプタ（別売り）は AC100V から AC240V まで対応していますが、AC アダプタのプラグ形状は AC100V 用（国内仕様）です。海外で充電する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

指示

指定の AC アダプタ（別売）の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、発熱・発火による火災の原因となります。傷んだ指定の AC アダプタ（別売）やゆるんだコンセントは使用しないでください。

禁止

指定の AC アダプタ（別売）の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときには、指定の充電用機器（別売）のプラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の AC アダプタ（別売）を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

指定の AC アダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが破損するおそれがあります。

本製品の本体から電池パックを外した状態で指定の AC アダプタ（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■microUSB ケーブルについて

⚠危険 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告・注意表示を厳守し、各取扱説明書の記載内容に従って正しくお使いください。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

指定の microUSB ケーブル（別売）の接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどが内部に入ったり、触れたりしないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

指定の microUSB ケーブル（別売）を傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。故障・感電・火災の原因となります。また、傷んだケーブルは使用しないでください。

指定の microUSB ケーブル（別売）を抜き差しするときは、必ずコネクタを持ってください。ケーブル部分を引っ張ると指定の microUSB ケーブル（別売）の破損や故障の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、充電用機器、microUSB ケーブル共通

● 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないようご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

● 極端な高温・低温・多湿はお避けください。
周囲温度 5 ℃～ 35 ℃、周囲湿度 35% ～ 85% の範囲内でご使用ください。

● ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

● 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて端子を変形させないでください。

● お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因や、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またア

ルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 充電中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に充電を中止することがあります。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中は、ご使用状況によっては本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが長時間触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因になります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 水中での操作

● 電池パックを外したところに貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品が電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

● 改造された au 電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク 〒」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

● 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。

万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料は問わない）などは、故障修理などによる au 電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通

事故の原因となり、法律で禁止されています。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 本製品を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本製品そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 長時間連続して表示し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります。（結露といいます）このような条件下での使用は腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に指定の microUSB ケーブル（別売）を接続するときは、外部接続端子に対して指定の microUSB ケーブル（別売）

のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。

- 外部接続端子に指定の microUSB ケーブル（別売）を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品のメモリカードスロットには、microSD メモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSD メモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。
- microSD メモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 光センサー／近接センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、「輝度」の「明るさを自動調整」を ON にし

ても、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 光センサー／近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して、タッチパネルや電源ボタンが操作できなくなります。

■タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■電池パックについて

- 夏期、閉めきった自動車（車内）に放置するなど、極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

● 長期間使用しない場合には、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。

● 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

● 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。au ショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。

● 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

● ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから外してください。

● 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

● 指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■microUSB ケーブルについて

● 指定の microUSB ケーブル（別売）を本製品に巻きつけて使用しないでください。

● ケーブルを持って本製品をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。

● 指定の microUSB ケーブル（別売）のコネクタを本製品やパソコンなどに接続するときは、奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。また、接続端子に対して平行になるように抜き差ししてください。故障や動作不具合の原因となります。
● 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
● 通信中や充電中などご使用状況によっては温かくなることがありますが異常ではありません。
● 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

■カメラ機能について

● カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
● 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
● 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
● 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
● カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影

者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。なお、実演、興行および展示物などには、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。

- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■著作権／肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断でデータを使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権で保護された画像や映像については、他の機器への転送時に制限がかかる場合があります。

■音楽／動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、歩行

中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

- 暗証番号

使用例	①	お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	②	お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の 4 桁の番号	

- ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロック、電話帳制限などの設定／解除をする場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

「画面ロック」	起動時や画面ロック時に画面ロック解除パターン、画面ロック解除暗証番号、パスワードを設定することにより、データをさらに安全に保護できます。

Bluetooth®/無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用する場合のお願い

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

Bluetooth®機能：2.4FH1

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

無線 LAN 機能：2.4DS4/OF4
本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
2.402GHz ～ 2.480GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品の Bluetooth®機能は日本国内の無線規格および FCC 規格に準拠し、認定を取得しています。
- 無線 LAN や Bluetooth®機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■Bluetooth®ご使用上の注意

本製品の Bluetooth®機能の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、

アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3 ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au ショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線 LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- 本製品の無線 LAN 機能は日本国内の無線規格および FCC 規格に準拠し、認定を取得しています。
- 電気製品・AV・OA 機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 航空機内での使用はできません。Wi-Fi®対応の航空機内であっても、必ず電源を切ってください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■無線 LAN ご使用上の注意

本製品の無線 LAN 機能の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au ショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されてしまうなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

本製品の記憶内容の控え作成のお願い

ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。
本製品のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記憶内容が消失したり変化することがあります。

※ **控え作成の手段**
連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSD メモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。
ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

3D 映像を撮影／視聴する場合のお願い

■3D 映像を撮影／視聴する場合のお願い

- 3D 撮影する場合は最短撮像距離より近い被写体を撮影しないでください。3D 効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。
- 3D 撮影時の最短撮像距離は約 50cm です。
- 光過敏の既往症、心臓疾患、体調不良、睡眠不足、疲れた状態、酒気を帯びた方は 3D 映像を撮影または視聴しないでください。病状などの悪化の原因となることがあります。
- 3D 映像の撮影中や視聴中に、画像が二重に見えたり立体感を感じにくくなったりした場合は、使用を中止してください。目の疲れの原因となることがあります。

- 3D 映像の撮影中または視聴中に、疲労感や不快感（乗り物酔いに似た症状など）を感じた場合は、使用を中止してください。体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。電車や自動車の中など、画面が揺れやすい環境では特に注意してください。
- 3D 映像の撮影または視聴は、7 歳以上を目安にしてください。子供が撮影または視聴する場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。保護者の管理のもと撮影または視聴させ、目の疲れがないかご注意ください。
- 3D 映像の撮影時または視聴時は、30 分の視聴を目安に、適度に休憩をとってください。長時間の撮影または視聴により、目の疲れの原因となることがあります。
- 3D 映像の撮影時または視聴時は、画面の正面から撮影または視聴してください。目の疲れの原因となることがあります。

■3D 映像の撮影／視聴について

- 3D 映像を安全に見るために、撮影時は次の点にご注意ください。
  - できるだけ 2 眼カメラを水平にして撮影してください。
  - 被写体に近づきすぎないでください（被写体から約 50cm 以上離してください）。
  - 本製品を動かして撮影するときは、ゆっくりと動かしてください。
- 3D 映像を撮影する際は、本製品を横向きにして行ってください。縦向きにすると 3D 効果が表れにくくなります。
- 3D 映像を視聴する際は、ディスプレイと両目を平行な状態にしてください。

● 3D 映像を撮影または視聴する際は、本製品を正面に持って顔から約 30cm 離すと、映像が浮き上がったり奥行きがあるように見えます。

● 3D 映像の見えかたについては個人差があります。

● 3D 対応のアプリケーションなどでは、2D ／ 3D 表示の切り替えができる場合があります。お客様が、本製品で録画したもの、他の媒体などから入手したものなど、他人が著作権を有する映像を 3D 変換される場合、個人で楽しむなど、私的目的の範囲内でご使用ください。
この範囲を超えてのご使用は、著作権侵害となるおそれがありますのでご注意ください。

memo

- 安全に 3D 映像の撮影または視聴をしていただくための注意事項などは、3D コンソーシアムのホームページから「3DC 安全ガイドライン」をご参照ください。
http://www.3dc.gr.jp/

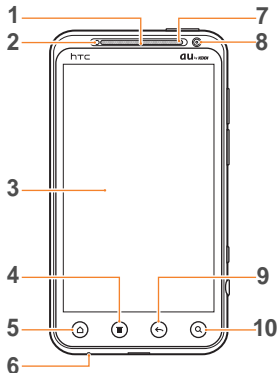
ISW12HTの使いかた

ISW12HT について

memo

- 本製品では、サーバーから定期的にソフトウェアの更新をチェックし、必要なときには自動的に更新を行います。また、ホーム画面で(≡)を押し、**設定** ＞ **この携帯電話について** ＞ **ソフトウェア アップデート** ＞ **今すぐチェック** をタップすると、ソフトウェア更新が必要かどうかを手動で確認することができます。

各部の名称と機能

■正面

1 **受話口**：相手の声がここから聞こえます。

2 **光センサー／近接センサー**：周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動的に調節します。

3 **タッチパネル**：指で直接触れて操作します。メニューや項目の選択、画面のスクロールやズームなどの操作ができます。

4 **メニューボタン**（≡）：現在の画面で使用できる機能一覧またはオプションメニューを表示します。

5 **ホームボタン**（⌂）：現在の画面表示からホーム画面（P.79）に戻ります。

- ホーム画面で押すと、すべてのホーム画面がサムネイルで表示されます。
- 長押しすると、最近使用したアプリケーションを表示します。

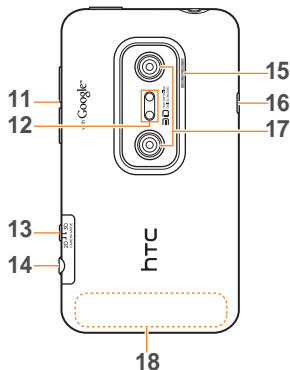
6 **送話口**：自分の声をここから伝えます。

7 **通知ランプ**：充電状態を確認したり、未確認の通知があることをお知らせします。

8 **インカメラ**：自分を撮影するときに使用します。

9 **戻るボタン**（←）：前画面に戻ります。

10 **検索ボタン**（🔍）：現在表示している画面またはアプリケーションに関連する情報を検索します。

■背面

11 音量ボタン：スピーカー音量や受話音量などを調節します。

- (＋)：音量大ボタン
- (−)：音量小ボタン

12 フラッシュライト：カメラ撮影時のライトとして使用します。

13 2D/3D カメラ切替スイッチ：写真やビデオの撮影モードを 2D または 3D に切り替えます。

14 カメラボタン：2 秒以上押すと、カメラが起動します。

- カメラ起動中は、シャッターボタンとして使用します。

15 スピーカー：スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音を聞くことができます。

16 外部接続端子：AC アダプタや microUSB ケーブルを接続します。

17 メインカメラ：写真やビデオクリップを撮影するためのカメラです。

18 内蔵アンテナ部：通話時など内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。

■上側面

19 3.5mm イヤホン端子：イヤホンマイクを接続します。

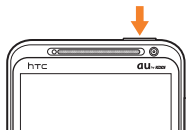
20 電源ボタン：電源をオンにします。

電源が入っているときは、押すたびに画面をオン／オフにします。

- 2 秒以上長押しすると「電源オプション」を表示します。電源をオフにしたりマナーモードを設定できます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

▶ 本製品の電源を入れるには、上側面にある電源ボタンを 2 秒以上押します
　ロック解除画面が表示されます。

> ***memo***
> - 初めて電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動し、言語選択、インターネット接続、メールアカウントなどの設定を行います。初期設定について詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。

電源を切る

1. 電源ボタンを 2 秒以上押す
   電源オプション画面が表示されます。
2. **電源 OFF** をタップ

> ***memo***
> - 電源オプション画面で**再起動**をタップした後、再度**再起動**をタップすると、すべてのアプリケーションを終了して本製品を再起動することができます。
>   再起動すると、保存していないデータは消去されますのでご注意ください。

スリープモード

一定時間、何も操作しないと、バッテリー残量を節約するために画面の表示が消えます。

> ***memo***
> - 画面が消灯するまでの時間を変更することができます。

ロック解除リング

■スリープモードを解除する

電源ボタンを押すとロック解除画面が表示されます。ロック解除画面のリングを上方向にスライドすると、ホーム画面が表示されます。
スリープモード中に電話がかかってきたときも、リングを上方向にスライドして電話に出ることができます。

> ***memo***
> - 画面ロック解除用のパターン／暗証番号／パスワードを作成して、セキュリティをさらに強化することもできます。

画面の見かた

通知パネル

■通知パネルを開く

ステータスバーに新しい通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下向きにスライドすると通知パネルを開くことができます。

通知の数が多い場合、通知パネルを上下にスクロールして見ることができます。

memo

- ホーム画面で㊂を押して**通知**をタップしても、通知パネルを開くことができます。

■通知パネルを閉じるには

▶ 通知パネル下のバーを上方向にスライドさせるか、⊖を押してください。

■最近使用したアプリケーションを起動するには

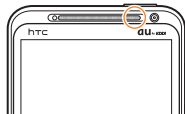
通知パネルでは、最近使用したアプリケーションが 8 つまで表示されます。

起動したいアプリケーションを左右にスライドして表示し、タップします。

■クイック設定を利用するには

クイック設定タブをタップすると、Wi-Fi®や WiMAX の接続、Bluetooth®や GPS 機能のオン／オフなどをすばやく設定することができます。

通知ランプ

本製品の充電状態や、未確認の不在着信、新着メッセージなどの情報は、通知ランプの点灯／点滅で確認できます。

通知ランプ	状態
点灯（緑）	電池パック満充電 （指定の AC アダプタ（別売）使用、またはパソコンとの接続によって充電されているとき）
点灯（赤）	電池パック充電中
点滅（赤）	電池パック残量少（要充電）
点滅（緑）	未確認の通知あり

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

■タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。

■ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ピンチ

2 本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

充電する

本製品は充電式リチウムイオン電池を使用しています。指定の電池パックをご利用ください。

■ご利用可能時間

連続待受時間	約 320 時間※
連続通話時間	約 450 分

※ 日本国内でご利用の場合の時間です。

memo

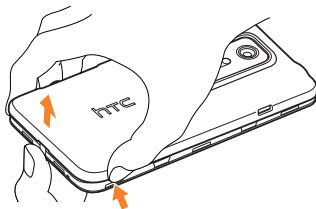
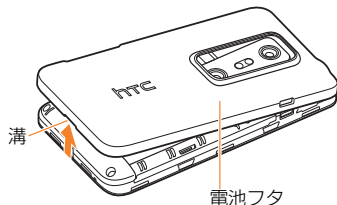
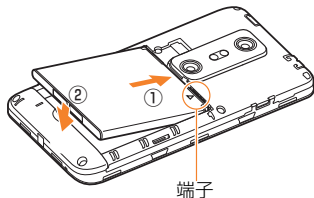
- 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、電池の消費量は異なります。

電池パックを取り付ける／取り外す

■電池パックを取り付ける

1. 電池フタを取り外す

電池フタの下部にある溝を指で持ち上げてから、左右のすき間に指先（爪）などをかけ、持ち上げて取り外します。

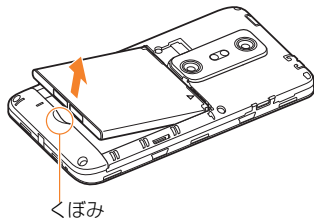
- カメラ部のエッジ部分でケガをしないよう注意してください。
- 電池フタを開けた際に、ボタンや端子部分にほこりなどが入らないよう注意してください。
- 電池フタを取り外す際には、無理な力を加えないでください。
- 電池フタを取り外す前に、外部接続端子からケーブルを取り外してください。

2. 電池パックの端子と本体の端子を合わせてから（①)、電池パックの上端（②の部分）を押して本体に取り付ける

3. 電池フタを取り付ける

電池フタのすべてのツメを本体に合わせてから、カチッと音がするまで押します。

取り付け後、電池フタの浮きがないかを確認します。

■電池パックを取り外す

1. 本体の電源を切る
2. 電池フタを取り外す
3. 電池パック下部にあるくぼみ部分に指先（爪）などをかけ、電池パックを持ち上げて本体から外す

くぼみ部分以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池パックの接続部が破損するおそれがあります。

電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。電池パックは以下の 2 通りの方法で充電できます。

● 指定の AC アダプタ（別売）を使って充電する（充電時間：約 200 分）
● 指定の microUSB ケーブル（別売）を使ってパソコン経由で充電する

■AC アダプタを使って充電する

1. 本製品に指定の AC アダプタ（別売）の microUSB プラグを接続する
2. 指定の AC アダプタ（別売）を、AC100V コンセントに差し込む

   充電中は、通知ランプが赤色に点灯し、充電中アイコン（ ）がホーム画面のステータスバーに表示されます。充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯し、フル充電アイコン（ ）が表示されます。
3. 充電が完了したら、指定の AC アダプタ（別売）をコンセントから抜き、本製品から指定の AC アダプタ（別売）の microUSB プラグを抜く

microSD メモリカードを取り付ける／取り外す

取扱上のご注意

- microSD メモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 当社基準において動作確認した microSD メモリカードは、次の通りになります（2011 年 9 月現在）。その他の microSD メモリカードの動作確認につきましては、各 microSD メモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

< microSDHC メモリカード>

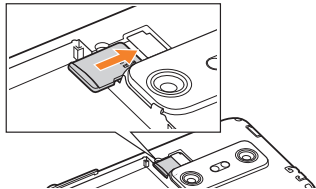
発売元	8GB	16GB	32GB
ADATA	−	○	−
Kingmax	−	○	−
Kingston	○	○	○
PQI	−	○	−
Pretec	○	−	−
Samsung	○	○	−
SanDisk	○	○	○
SILICON POWER	−	○	−
東芝	−	○	−
Transcend	○	○	○

○：動作確認済み　　－：未確認または未発売

microSD メモリカードを取り付ける

1. 本体の電源を切る

2. 電池フタを取り外し、電池パックを取り外す（P.63）

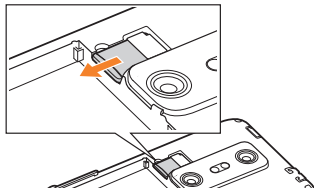
3. 端子面を下にしてmicroSDメモリカードをスロットに奥までしっかり差し込む

4. 電池パックを取り付け、電池フタを取り付ける（P.62）

> ***memo***
> - microSD メモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
> - microSD メモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

microSD メモリカードを取り外す

1. 本体の電源を切る

2. 電池フタを取り外し、電池パックを取り外す（P.63）

3. スロットからmicroSDメモリカードを矢印の方向へゆっくり取り出す

4. 電池パックを取り付け、電池フタを取り付ける（P.62）

電話をかける／受ける

memo

- 「 」が表示された場合は、サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、通話できません。「 」が消える所まで移動してください。

電話をかける

電話画面で電話番号を直接入力して電話をかけます。

1. **電話**をタップ
2. ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力
   - 間違った番号を入力した場合は、後退キー（ ）をタップすると番号が 1 桁ずつ消去されます。後退キーを 1 秒以上タップすると、番号全体が消去されます。

・ 電話番号や相手の名前を入力していくにつれて、自動的に連絡先、通話履歴の中の該当する候補が絞り込まれていきます。表示された候補の中から選択してダイヤルすることもできます（スマートダイヤル機能）。連絡先の名前を見つけるには、名や姓のアルファベットを入力して該当する連絡先の名前を選択します。

3. **ダイヤル**をタップ

memo

- 電話番号を 6 桁以上入力したときに、該当する電話番号が連絡先に登録されていない場合は、**連絡先に保存**が表示されます。タップすると、入力中の電話番号を連絡先に登録できます。

■連絡先から電話をかける

1. ホーム画面で ▦ ＞ **連絡先**をタップ
2. 電話をかけたい相手を選択
3. かけたい電話番号をタップ

電話を受ける

着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。
着信時は、かけてきた相手の名前と電話番号（連絡先に登録されている場合）または電話番号のみが表示されます。ただし、番号非通知設定の相手からの着信時は電話番号は表示されません。

■着信に応答する

▶ 着信中に**応答**をタップします。
▶ スリープモード中の着信に応答する場合は、**答え**をロック解除のリングにスライドするかリングを上方向にスライドします

■着信音を消す

着信中に、以下の操作で着信音をミュートすることができます。

▶ 音量ボタンを押します。

- ディスプレイを下向きにしても着信音をミュートすることができます。

■手に取ると着信音量が下がるように設定する

着信時に本製品を手に取ると、着信音量が自動的に下がるように設定します。

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** > **サウンド**をタップ
2. **電話を動かして着信音量を下げる**にチェックを付ける

■着信を拒否する

▶ 着信中に**拒否**をタップします。

▶ スリープモード中の着信を拒否する場合は、**同意しない**アイコンをロック解除画面のリング内にドラッグします。

■通話を終了する

▶ 通話中に**通話を終了**をタップします。

不在着信を確認する

不在着信があると、ステータスバーに不在着信アイコン（ ）が表示されます。次のいずれかの方法で不在着信を確認してください。

▶ 通知パネルを開いて不在着信を確認します。

▶ 電話画面で をタップします。通話履歴一覧から不在着信（ ）を確認します。

緊急電話をかける

本製品では発信制限などを設定しているときでも、緊急電話をかけることができます。

▶ 緊急通報番号（110、119、118）を入力し、**ダイヤル**をタップします。

通話中の操作

通話中は、(≡)を押して以下のような操作をすることもできます。

項目	説明
ミュート	こちらの音声を相手に聞こえないようにします。ミュートを解除するには、**ミュート解除**をタップします。
スピーカー ON	スピーカーを使って通話します。スピーカーフォンをオフにするには、**スピーカー OFF** をタップします。

memo

- スピーカーから大きな音が出る場合がありますので、スピーカーフォンがオンになっているときには、本製品を耳に当てないでください。

スピードダイヤル

ダイヤルキーの数字キーにあらかじめ電話番号を割り当てておくと、その数字キーを 1 秒以上タップするだけで電話をかけることができます。

■電話番号をスピードダイヤルに登録する

1. ホーム画面で [アプリ] > **連絡先**をタップし、登録する連絡先をタップ
2. (≡)を押し、**スピードダイヤルを設定**をタップ
3. 電話番号を番号リストから選択
4. 割り当てる数字を場所リストから選択
5. **保存**をタップ

memo

- スピードダイヤル番号 **1** は伝言・ボイスメール再生用に割り当てられています。すでにスピードダイヤルが設定されている番号に別の電話番号を割り当てると、新しい番号が有効となり、元の電話番号は自動的に上書きされます。

■スピードダイヤルで電話をかける

▶ **電話**をタップし、電話番号が割り当てられている数字キーを 1 秒以上タップします。

■スピードダイヤルに登録した内容を確認する

▶ **電話**をタップし、(≡)を押して**スピードダイヤル**をタップします。

- スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルの一覧で削除したいスピードダイヤルをロングタッチして、ポップアップメニューから**削除**をタップします。

文字入力

スクリーンキーボードを使う

テキストや数字の入力が必要なアプリケーションを起動したときや、テキストフィールドを選択したときには、文字入力のためにスクリーンキーボードを使用できます。

1. テキストエリアをタップ

入力モード	説明
あ	ひらがな漢字入力モード
カ	全角カタカナ入力モード
ｶﾅ	半角カタカナ入力モード
A	全角英字入力モード
AB	半角英字入力モード
1	全角数字
12	半角数字
(マイク)	音声入力モード

1 **戻るキー**：文字入力キーに割り当てられている文字を逆の順に表示します。

2 **カーソル移動キー**（左）：カーソルを左に移動します。連文節変換時は文節を 1 文字分短くします。ワイルドカード予測にも利用します。

3 **記号キー**：記号／顔文字リストを表示します。英数カナ が表示されているときは、英数カナ変換を行います。

4 **文字切替キー**：入力モードを切り替えます。（ひらがな→半角英字→半角数字→音声入力→ひらがな→・・・）1 秒以上タップするとパネルが表示され、入力モードの切り替えや QWERTY キーボードへの切り替えなどができます。

5 **バックスペースキー**：カーソルの前の文字を削除します。タップし続けると文字を連続して削除します。

6 **カーソル移動キー**（右）：カーソルを右に移動します。連文節変換時は文節を 1 文字分長くします。ワイルドカード予測にも利用します。

7 **スペースキー**：スペースの入力、または連文節変換を行います。

8 **Enter（確定）キー**：改行入力、または入力中の読み（変換中は文節）を確定します。

9 入力中の文字に対し「゛」（濁点）「゜」（半濁点）の入力および大文字、小文字への変換を行います。

10 **文字入力キー**

11「、」（読点）や「。」（句点）、記号やスペースを入力します。

memo

- キーボードが必要ではないときは、(←) を押して閉じることができます。キーボードを再び表示するには、画面上のテキストエリアをタップします。

ひらがな／漢字を入力する

漢字を入力するには、文字入力キーをタップしてひらがなを入力し、変換候補から選択します。

＜例：「携帯」と入力する場合＞

1. 入力モードが「ひらがな漢字入力モード」になっていることを確認

2. 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

(4 回)	(2 回)	(1 回)	(2 回)
け	い	た	い

変換候補エリアに変換候補が表示されます。

- 変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の ／ をタップして変換候補エリアの最大化／最小化をすることができます。
- **英数カナ**をタップすると、入力した文字に応じた英数およびカタカナの変換候補が表示されます。
- **変換**をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。
- カーソル移動キー（ ／ ）をタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3. 変換候補から「**携帯**」をタップ

■キーボードで入力する

▶ QWERTY キーボードに切り替えるには、文字切替キーを 1 秒以上タップして、**テンキー ⇔ フルキー**をタップします。

＜例：「携帯」と入力する場合＞

1. 入力モードが「ひらがな漢字入力モード」になっていることを確認

2. 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

■ローマ字／カナの場合

3. 変換候補から「**携帯**」をタップ

スクリーンキーボードを回転する

本製品を横向きに回転すると、自動的に画面方向を縦表示から横表示に切り替えることができます。

> ***memo***
> - 画面方向の自動切り替えをするには、ホーム画面で(≡)を押し、**設定** ＞ **表示**の**画面の自動回転**にチェックを付けてください。
> - 表示中の画面によっては、本製品の向きを変えてもスクリーンキーボードが横表示されない場合があります。

絵文字／記号／顔文字を入力する

登録されている絵文字／記号／顔文字を入力できます。

1. 文字入力中に**記号**キーをタップ

2. **絵文字**／**記号**／**顔文字**タブをタップし、入力する絵文字／記号／顔文字キーをタップ

memo

- 文字入力画面で「かお」と入力して変換すると、予測変換の候補に顔文字が表示されます。

タッチ入力設定を変更する

ホーム画面で(≡)を押し、**設定** > **言語とキーボード** > **iWnn IME** をタップすると、以下の文字入力の各種設定を行うことができます。

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーの拡大表示をするかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。
キーボードタイプ	スクリーンキーボードのタイプを変更します。
キーボードイメージ	スクリーンキーボードのイメージを変更します。
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。
フリック入力	フリック入力機能を利用するかどうかを設定します。
フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。
トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。

候補学習	入力変換した語句を学習させるかどうかを設定します。
予測変換	文字入力時、変換候補を表示させるかどうかを設定します。
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示させるかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	読みの文字数から変換候補を推測するかどうかを設定します（ワイルドカード予測機能）。
候補表示行数	スクリーンキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
マッシュルーム	外部文字入力アプリケーションを使用するかどうかを設定します。

日本語ユーザー辞書	ひらがな漢字入力モードで使用する日本語ユーザー辞書を登録します。
英語ユーザー辞書	半角英字入力モードで使用する英語ユーザー辞書を登録します。
学習辞書リセット	学習辞書をリセットします。
ダウンロード辞書	サイトからダウンロードした辞書を、通常変換や予測変換に利用できるように設定します。

ホーム画面について

ホーム画面は、アプリケーションを使用するためのスタートポイントです。ホーム画面をカスタマイズして、アプリケーションアイコンやショートカット、フォルダ、ウィジェットを表示させることができます。

1 ステータスバー：通知アイコンとステータスアイコンが表示されます。ステータスバーを下方向にスライドすると、通知パネルを開くことができます（P.58）。

2 **アプリケーションアイコン**：選択したアプリケーションが起動します。

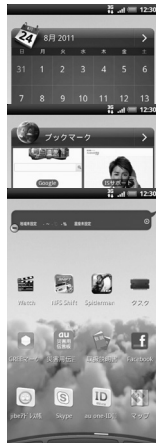
3 **全てのアプリケーション**：すべてのアプリケーションが表示されます。

4 **電話**：電話画面を表示します。

5 **個人設定**：ホーム画面にウィジェット、ショートカット、フォルダを追加したり、ディスプレイやサウンドの設定を行います。

> ***memo***
> - いずれのアプリケーションを起動中でも、(⌂)を押すとホーム画面に戻ります。

拡張ホーム画面

ホーム画面は、アイコンやウィジェットなどを追加するために、6 つの拡張ホーム画面を用意しています。

ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にスライドすると、拡張ホーム画面に切り替えることができます。

■画面を直接タップして画面を切り替える

1. ホーム画面で ⌂ を押すか、画面を指でつまむ（ピンチイン）

すべてのホーム画面がサムネイルで表示されます。

2. 表示したい画面を直接タップ

> ***memo***
> - 拡張ホーム画面で ⌂ を押すか、サムネイル表示画面で指を開く（ピンチアウト）とホーム画面に戻ります。

端末設定

サウンド

着信音を設定する

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** ＞ **サウンド**をタップ
2. **着信音**をタップし、着信音を選択
   選択すると、着信音が再生されます。
3. **適用**をタップ

通知音を設定する

新着通知の通知音を設定できます。

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** ＞ **サウンド**をタップ
2. **通知音**をタップし、通知音を選択
   選択すると、通知音が再生されます。
3. **適用**をタップ

memo

- 着信音、通知音の設定は、モード設定が「通常」以外になっていると変更できません。

音量を調節する

着信音量、メディア音量、アラーム音量は、個別に調節することができます。メディア音量を調節すると、音楽や動画再生の音量が変わります。

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** > **サウンド**をタップ
2. **音量**をタップし、**着信音**／**メディア**／**アラーム**のスライダーで音量を調節
   通知音にも着信音量を適用のチェックを外すと、通知音の音量が設定できます。
3. **OK** をタップ

memo

- 音量ボタンを押して、着信音量を調整することもできます。音楽や動画の再生中に音量ボタンを押すと、メディア音量を調節できます。

サウンドプロファイルを切り替える

本製品をマナーモードまたはサイレントモードに切り替えることができます。

■マナーモード

周囲に迷惑がかからないよう、着信音や通知音などをスピーカーから出さずに本製品の振動でお知らせします。

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** > **サウンド**をタップ

2. **モード設定**をタップし、**マナー**を選択

ステータスバーにマナーモードアイコン（ ）が表示されます。

- マナーモードを解除する場合は、モード設定で**通常**を選択します。音量大ボタンを押してもマナーモードを解除することができます。

memo

- マナーモードを設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音やゲームの音は動作音が鳴ります。
- 音量小ボタンを、以下の画面が表示されるまで押しても、マナーモードを設定することができます。

■サイレントモード

本製品からのすべての音をスピーカーから出さないように設定します。

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** > **サウンド**をタップ

2. **モード設定**をタップし、**サイレント**を選択

ステータスバーにサイレントモード（ ）が表示されます。

・ サイレントモードを解除する場合は、モード設定で**通常**を選択します。音量大ボタンを押してもサイレントモードを解除することができます。

memo

- サイレントモードを設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- サイレントモード設定中でも、カメラのシャッター音やゲームの音は動作音が鳴ります。
- 音量小ボタンを、以下の画面が表示されるまで押しても、サイレントモードを設定することができます。

緊急通報音を設定する

緊急通報番号（110、119、118）の通報時に、アラート音（警告音）が鳴るように設定できます。

1. ホーム画面で ⓔ を押し、**設定** ＞ **サウンド**をタップ
2. **緊急通報時の音** ＞ **アラート**をタップ

ディスプレイ

壁紙を変更する

ホーム画面とロック解除画面の背景画像を変更できます。あらかじめ登録されている壁紙以外にも、カメラで撮影した写真やアニメーション壁紙（ライブ壁紙）を設定することもできます。

1. ホーム画面で ⓔ を押し、**壁紙**をタップ
2. 以下の操作を行う
   - **HTC 壁紙**：本体に保存された壁紙を設定します。画像を選択し、**プレビュー** ＞ **適用**をタップします。
   - **ライブ壁紙**：アニメーション壁紙を設定します。アニメーションを選択し、**適用**をタップします。アニメーション壁紙によっては、アニメーションを選択した後、**設定**をタップして、さらに表示内容を変更できるものがあります。
   - **ギャラリー**：撮影した静止画や microSD メモリカードに保存している画像を設定します。**カメラ撮影**／ **3D フォトとビデオ**／**すべての写真**をタップして静止画を選択します。画像をトリミングし、**保存**をタップします。

位置情報

1. ホーム画面で Ⓜ を押し、**設定** ＞ **位置情報**をタップ
2. **ワイヤレスネットワークを使う**と**GPS機能を使用**にチェックを付ける

memo

- **GPS 機能を使用**をオンにすると詳細な住所を表示することができますが、これには視界が良好である必要があり、電池の消耗が早くなります。電池の消耗を軽減する場合はオフにしてください。

機内モード

航空機内や医療機関の中などで携帯電話の電源をお切りください。

▶ 電源ボタンを 2 秒以上押し、**機内モード** をタップします。
機内モードがオンになると、ステータスバーに機内モードアイコン ✈ が表示されます。
- 機内モードをオフにするには、電源ボタンを 2 秒以上押し、再度 **機内モード**をタップします。

memo

- 医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

アカウントと同期

Google アカウント

Google アカウントを設定すると、Gmail、Google トーク、Google カレンダー、Android マーケットなどの Google サービスを利用いただけます。

本製品の初回起動時には、Google アカウントを設定する初期設定ウィザードが表示されます。Google アカウントをすでにお持ちの方は、**ログイン**を選択してお持ちのアカウントを入力してください。アカウントをお持ちでない方は、本製品からアカウントをすぐに作成することができます。Google アカウントの作成については、『設定ガイド』をご参照ください。

■Google アカウントを追加する

本製品で複数の Google アカウントを使用することができます。2 つ目以降の Google アカウントでは、Gmail のメール、連絡先、カレンダーを同期することができます。その他の Google サービスは、最初の Google アカウントを使用します。

1. ホーム画面で(≡)を押し、**設定** ＞ **アカウントと同期** ＞ **アカウントを追加**をタップ
2. **Google** をタップ

   以降は、画面の指示に従って操作してください。

海外利用に関する設定

本製品はグローバルパスポート CDMA に対応しています。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

ご購入時には海外提携事業者の「PRL（ローミングエリア情報）」があらかじめ設定されておりますが、渡航時には最新のローミングエリア情報を取得してからお使いください。

● ローミングエリア情報の更新は、日本国内で行ってください。

1. ホーム画面で ⓔ を押し、**設定** ＞ **無線とネットワーク** ＞ **モバイルネットワーク設定**をタップ
2. **PRL 設定**をタップ
3. **今すぐチェック**をタップ

memo

- 古い PRL データのまま利用し続けている場合、海外のエリアによっては通信ができなくなることがあります。
- PRL の更新を行った後は、しばらくの間通信ができません。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1. ホーム画面で ⓔ を押し、**設定** ＞ **無線とネットワーク** ＞ **モバイルネットワーク設定**をタップ
2. **データローミング**にチェックを付ける
3. **OK** をタップ

データローミングモードを設定する

海外で利用できるように CDMA ローミングモードを設定します。

1. ホーム画面で (≡) を押し、**設定** ＞ **無線とネットワーク** ＞ **モバイルネットワーク設定**をタップ

2. **システムの選択**をタップ

3. **自動切替（国内 / 海外）**を選択

日本国内のみで利用する場合は、**国内**を選択してください。

履歴

◆ 「通話履歴を見る」（P.91）
◆ 「通話履歴を利用して電話をかける」（P.92）

通話履歴を見る

発着信履歴や不在着信の通話履歴一覧を表示できます。
電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前が表示されます。発信者番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。

1. ホーム画面で ＞ **連絡先**をタップ
2. タブをタップ
3. 連絡先または電話番号の をタップ

   通話履歴の詳細が表示されます。同じ連絡先または電話番号の通話履歴がまとめて一覧表示されます。

通話履歴を利用して電話をかける

不在着信履歴・着信履歴・発信履歴から電話をかけることができます。

1. ホーム画面で ＞ **連絡先**をタップ
2. タブをタップ
3. 連絡先または電話番号をタップ

memo

- 通話履歴一覧で を押して**表示**をタップすると、通話履歴を種類別に表示することができます。
- 通話履歴を 1 秒以上タップするとオプションメニューが表示され、詳しい通話履歴の表示・編集・削除や連絡先の表示などが行えます。

連絡先

連絡先について

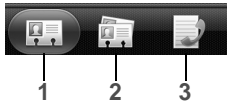
よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

- Web上のGoogleアカウントやFacebookアカウントと同期することもできます。
- 本体メモリの他に、以下から連絡先をインポートしたり同期することができます。
  - Gmailメール連絡先からインポート
  - Exchange Serverアカウントと同期
  - HTC Syncを使用してパソコンと同期
  - microSDメモリカードからインポート／エクスポート
  - Facebookアカウントと同期
- 本製品に登録できる連絡先の件数は、本体メモリの空き容量によって異なります。

memo

- HTC Sync は本製品の連絡先やカレンダーなどを、お使いのパソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。

連絡先一覧

連絡先一覧には、以下の 3 つのタブが表示されます。タブを直接タップするか、現在表示されているタブをドラッグして、使用するタブのところで離します。

1	すべてタブ	本体メモリ、Google アカウント、Facebook アカウント、Exchange ActiveSync アカウントすべての連絡先を表示します。また、自分のプロフィール（私の連絡先カード）も編集できます。
2	グループタブ	連絡先のグループを表示します。新しいグループを作成したり、グループの全員にまとめて電子メールを送信することができます。
3	通話履歴タブ	発着信履歴や不在着信の履歴一覧を表示します。

連絡先一覧画面の見かた

1	マイ連絡先カードを表示／編集
2	顔写真をタップするとクイックアクセスアイコンを表示
3	不在着信あり、新着 C メール／メールあり、Facebook プロフファイル更新あり、Facebook イベントあり、Facebook ／ Flickr 写真追加
4	新しい連絡先を登録
5	Facebook 連絡先、Facebook アカウント／ Twitter アカウント／ Flickr アカウントにリンク
6	クイックアクセスアイコン アイコンをタップして、電話発信やメール作成などを素早く操作できます。表示されるアイコンは連絡先の登録内容によって異なります。

新しい連絡先を登録する

1. ホーム画面で [icon] ＞ **連絡先**をタップ
2. [icon] をタップし、**連絡先の種類**を選択
   - **Google**：Google アカウントと同期します。
   - **本体**：本体メモリに登録します。
3. 各項目を入力 ＞ **保存**をタップ
   連絡先の種類によって登録できる内容が異なります。

カメラ

静止画／動画を撮影する

本製品に内蔵されたカメラを使って、写真や音声付きビデオクリップを撮影することができます。

memo

- カメラを使用する前に microSD メモリカードを挿入してください。本製品で撮影した写真または動画はすべて microSD メモリカードに保存されます。

カメラを起動する

▶ カメラボタンを 2 秒以上押す、または ▦ > **カメラ**をタップします。

カメラの撮影画面の見かた

撮影画面の各種アイコンは、画面をタップすると表示されます。

1	ズーム調節スライダー	ドラッグするとズーム倍率を調整
2	アルバムの表示	タップするとアルバムに保存されている静止画および動画のサムネイルを表示
3	オートフォーカスインジケーター	ピント調整中は白色で表示され、焦点が決まると緑色で表示
4	カメラモードボタン	タップするとカメラとビデオカメラを切替
5	カメラ切替ボタン	タップするとメインカメラとインカメラを切替
6	シャッターボタン	タップすると静止画を撮影・動画録画を開始／終了
7	フラッシュボタン	タップするとフラッシュモードを切替
8	撮影効果ボタン	タップすると撮影効果一覧を表示

静止画を撮影する

1. カメラボタンを 2 秒以上押す、または ▦ > **カメラ**をタップ

- ズームを使う場合は、ズーム調節スライダーをドラッグして調節します。
- フラッシュボタンをタップすると、フラッシュモードを切り替えることができます。
  ：被写体が暗いときに自動的にフラッシュが働きます。
  ：フラッシュを常にオンにします。
  ：フラッシュをオフにします。

2. カメラを被写体に向けて をタップ

カメラを被写体に向けると、自動的にオートフォーカスが起動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴り、フォーカス枠が緑色で表示されます。そのまま をタップすると、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

フォーカス枠は画面をタップして移動することができます。

3. 撮影した静止画を利用する

撮影した静止画を共有したり、壁紙や連絡先などに登録することができます。

動画を撮影する

1. ホーム画面で ▦ > **ビデオカメラ**をタップ

- ズームを使う場合は、ズーム調節スライダーをドラッグして調節します。
- フラッシュボタンをタップすると、フラッシュモードを切り替えることができます。
  ：フラッシュを常にオンにします。
  ：フラッシュをオフにします。

2. カメラを被写体に向けて ● をタップ

カメラを被写体に向けると、自動的にオートフォーカスが起動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴ります。そのまま ● をタップすると、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

3. ● をタップ

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

4. 撮影した動画を利用する

撮影した動画を共有することができます。

3D 静止画／ 3D 動画を撮影する

本製品では内蔵されているカメラを使って、3D 静止画／ 3D 動画を撮影することができます。撮影した静止画／動画はディスプレイに表示して、専用メガネなしで 3D 映像を楽しむことができます。

▶ 2D/3D カメラ切替スイッチを **3D** にして、静止画／動画を撮影します。

memo

- 3D 映像の視聴中に、頭痛、めまい、吐き気を感じた場合は、使用を中止してください。電車や自動車の中など、画面が揺れやすい環境では特に注意してください。
- 3D 映像の視聴は、7 歳以上を目安にしてください。

au のネットワークサービス／インターネット

auのネットワークサービス

お留守番サービス

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」（P.87）を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、C メールで確認できます。
伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の 2 種類があります。

memo

- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は 20 件までです。
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約 48 時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

伝言・ボイスメールを聞く

1. 新しい伝言メッセージが録音されたことを示す C メールのアイコンがディスプレイに表示される
2. 「1417」をダイヤルしてお留守番サービスセンターに接続

   この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを確認してください。

memo

- スピードダイヤルの **1** から発信しても、メッセージを確認できます。

C メール

C メールは、C メール対応の au 電話同士および他社携帯電話（ショートメッセージサービス対応機種）で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

C メールを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1. ホーム画面で ▦ ＞ **メッセージ**をタップ
2. ✎ をタップ

3. **To**（宛先入力欄）をタップし、宛先を入力

連絡先から宛先を入力する場合は、 をタップして宛先を選択します。

4. **テキストを追加**（本文入力欄）をタップし、本文を入力

本文は、全角 50 ／半角 100 文字まで入力できます。

定型文を挿入する場合は、 を押し、**クイックテキスト**をタップして定型文を選択します。

5. **送信**をタップ

C メールが送信されます。

- C メールの作成を中止する場合は、C メール作成画面で を押し、**破棄** ＞ **OK** をタップします。

memo

- C メールを作成中に画面を切り替えた C メールは下書きフォルダに、送信できなかった C メールは未送信フォルダに保存されます。下書きフォルダ／未配信メッセージフォルダは、C メール一覧画面で を押し、**下書き**または**未配信**をタップして表示できます。
- C メール送信時、相手にメールが届いたかどうかを確認することはできません。なお、C メール送信動作が完了した時点で通信料が発生します。

C メールを受信する

1. C メールを受信

C メールを受信すると、C メールを受信したことを示すメッセージが表示されます。

> ***memo***
> - 受信したことを示すメッセージは、何も操作しなくてもしばらくすると自動的に消えます。

2. ホーム画面で > **メッセージ**をタップ

3. C メールを選択

C メールの内容が表示されます。

> ***memo***
> - C メールの受信は無料です。
> - 全角 51 文字／半角 101 文字以上の C メールは、分割されて 2 通の C メールとして受信します。

発信番号表示サービス

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号が本製品のタッチパネルに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

■相手の方の電話番号の表示について

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がタッチパネルに表示されます。

表示	説明
「番号非通知」	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV 電話など、発信者番号を通知できない電話からかけている場合に表示されます。

インターネット／データ通信

データ通信を利用する前に

本製品は、パケット通信方式を採用した CDMA 1X WIN のデータ通信サービスで、最大通信速度受信 3.1Mbps ／送信 1.8Mbps（ご使用の環境によっては受信 2.4Mbps ／送信 144kbps）でのパケット通信によるインターネット接続や LAN 接続を行うことができます。

「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、本製品を手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新の au 総合カタログ／ au のホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- IS NET にお申し込みされていない場合は、au.NET でのご利用となります。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットや Google サービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次の URL でご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（au お客さまサポート）

※ 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NET のご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※ 通信料については、最新の au 総合カタログ／ au ホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

ブラウザを起動してインターネットを開始します。ブラウザは完全に最適化されており、ネットサーフィンができるよう高度な機能が装備されています。

ブラウザを起動する

▶ ホーム画面で [アイコン] > **ブラウザ**をタップします。

E メール

E メールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができる au のサービスです。
メッセージの他に、写真やビデオクリップなどのデータを送受信することもできます。

● メールアドレスは、ドメイン名（@ マークより右側の部分）が「@ezweb.ne.jp」です。

memo

- ホーム画面で [アイコン] > **メール**をタップすると、PC メール（POP3 ／ IMAP4）や会社の Exchange Server メール、Gmail、Yahoo! Mail、Windows Live Hotmail の設定を行うことができます。

E メールを作成する

1. ホーム画面で [アイコン] > **E メール**をタップ
   初回起動時は、E メールアドレスの設定画面が表示されます。詳細については、『設定ガイド』をご参照ください。
2. **新規作成**をタップ

3. **アドレスを入力**をタップし、宛先を入力

をタップすると、連絡先や送受信履歴などから選択することができます。

- 宛先を追加する場合は、**宛先を追加**をタップして宛先を入力します。
- Cc、Bcc を利用する場合は、**To** をタップして **Cc** ／ **Bcc** をタップします。Cc、Bcc は、1 つめの宛先には設定できません。

4. **件名を入力**をタップし、件名を入力

5. 本文入力欄をタップし、本文を入力 ＞ **完了**をタップ

- 本文入力画面で**装飾**をタップすると、本文の文字の色や背景色を変更したり、デコレーション絵文字を挿入して、デコレーションメール作成することができます。

6. **送信**をタップ

- ファイルを添付する場合は、送信メール作成画面で**添付する**をタップします。添付するファイルの保存先を選択し、ファイルを選択します。カメラなどのアプリケーションを起動して添付するファイルを撮影・録音することもできます。
- 送信メール作成画面で**保存**をタップすると、編集中の E メールを**未送信ボックス**に保存できます。

Android マーケット

Android マーケットで公開されているアプリケーションを本製品にインストールして利用できます。
Android マーケットを利用するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi®接続が必要です。また、Google アカウントにログインする必要があります。

Android マーケットを開く

1. ホーム画面で > **マーケット**をタップ
   初回起動時はマーケット利用規約が表示されるので**同意する**をタップします。

1	「アプリケーション」または「ゲーム」カテゴリを選択した後ジャンルを選択すると、「有料アプリケーション」「無料アプリケーション」「新着」に分類して表示できます。「au」には au がおすすめするアプリケーションが一覧で表示されます。

2	キーワード検索などによって目的のアプリケーションを検索できます。
3	タップすると、アプリケーションの説明やレビューが表示されます。

memo

- ホーム画面で ■ ＞ **au one Market** をタップすると、au one Market からアプリケーションをダウンロード・インストールすることができます。また、ホーム画面で ■ ＞ **GREE マーケット**をタップすると、GREE マーケットから au ONE GREE の無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

Watch

Watch とは、最新の映画やテレビ番組などの動画コンテンツをダウンロードできる動画配信サービスです。

memo

- **Watch** の動画配信サービスを利用するには、Watch アカウントを登録する必要があります。ホーム画面で ⊜ を押し、**設定** ＞ **アカウントと同期** ＞ **アカウントを追加** ＞ **Watch** をタップします。Watch アカウントをすでにお持ちの方は、**サインイン**をタップしてお持ちのアカウントを入力してください。アカウントをお持ちでない方は、**作成**をタップして本製品からアカウントを作成してください。

1. ホーム画面で ＞ **Watch** をタップ

   初回起動時はライセンス契約が表示されるので**同意する**をタップします。

2. 動画コンテンツを選択

付録

ソフトウェアの更新

本製品では、ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- ソフトウェア更新時のデータのダウンロードには、Wi-Fi®機能、WiMAX 機能、および3G パケット通信が使用できます。
- ソフトウェアの更新にかかる情報量・通信料は無料です。
- ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、本製品は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります）。ソフトウェア更新前に本製品に登録されたデータはそのまま残りますが、本製品の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェアの更新に伴う、一切の故障・動作不良・ソフトウェア設定ならびに仕様の変更などによって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先までご連絡ください。修理が必要となり、それに伴って手数料が発生する場合があります。

memo

- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックをいったん取り外した後、再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、au ショップもしくは PiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアを自動更新する

1. ホーム画面で ⊜ を押し、**設定** > **この携帯電話について**をタップ
2. **ソフトウェア アップデート**をタップし、**定期的なチェック**にチェックを入れて**はい**をタップ

   サーバーから定期的にソフトウェアの更新をチェックします。

3. システムソフトウェアの更新アイコンが表示されたらアイコンをタップ
4. メッセージを確認し、ダウンロード方法を選択 ＞ **OK**
5. インストールを確認するメッセージが表示されたら、**今すぐインストール** ＞ **OK** をタップ

手動で更新をチェックする

1. ホーム画面でを押し、**設定** ＞ **この携帯電話について**をタップ
2. **ソフトウェア アップデート** ＞ **今すぐチェック**をタップ

   更新するソフトウェアがある場合は、「ソフトウェアを自動更新する」（P.117）を参照してインストールしてください。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
電源ボタンを押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.64
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.62
	電池パックの端子が汚れていませんか？	―
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.64
電源起動時のアニメーション表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.64
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.56
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	―

電話がかけられない	電話番号入力後、「ダイヤル」をタップしていますか？	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.87
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	—
	サービスエリア外にいませんか？	—
	電源は入っていますか？	P.56
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.87
	着信転送サービスが設定されていませんか？	—
圏外アイコン が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	—
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.55
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	—
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	—
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	—
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.62

ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.56
	「画面ロック」が設定されていませんか？	―
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	―
充電してください、電池切れなどと表示されて警告音が鳴った	電池残量がほとんどありません。	P.64
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.64
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.39
	圏外が表示される場所での使用が多くありませんか？	―
GPS 情報が取得できない	地下やトンネル内など見晴らしの悪い場所にいませんか？	―
	GPS 機能をオンにしていますか？	P.87
WiMAX 接続ができない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	―
	WiMAX 機能をオンにしていますか？	―

電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	—
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「表示」設定の「消灯時間」の時間が短く設定されていませんか？	—
画面照明が暗い	「表示」設定の「輝度」が暗く設定されていませんか？	—
	明るい場所で操作していませんか？周囲が明るいとバックライトは点灯しません。	—
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.55
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.53
画像の編集ができない	編集できない画像を選択していませんか？	—
連絡先の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 非通知で電話を受けた場合、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。	P.106

microSD メモリカードを認識しない	microSD メモリカードは正しくセットされていますか？	P.66
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.64
	本体の温度が高くなっていませんか？	—

さらに詳しい内容については、以下の au ホームページの au お客さまサポートでご案内しております。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については au ショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社は本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後 6 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au 電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額 315 円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、au ショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

- ご入会は、au 電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回の au 電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のある au 電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au 電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しい au 電話をご購入いただいた場合、以前にご利用の au 電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　FC 0077-7-113（通話料無料）

au 電話からは　局番なしの 113（通話料無料）

■au アフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート	無料会員
① 保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5 年保証サービス	3 年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引（無料）	お客様負担額 5,250 円（税込）
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250 円（税込）	お客様負担額 10,500 円（税込）

④ 紛失時あんしんサービス	新しい au 電話購入代金最大 18,900 円（税込）OFF	新しい au 電話購入代金最大 6,300 円（税込）OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一 au 電話を 1 年以上（または 3 年以上）継続利用することで電池パックを 1 個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一 au 電話を継続利用で、1 年間無事故の場合、au ポイント 1,000 ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

- 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

- 「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。
- お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

- ご購入から同一の au 電話を 1 年以上継続利用経過時に 1 個、3 年以上継続利用経過時に 1 個の電池パックを無料で提供いたします。（合計 2 回まで）
- 電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au 電話のご購入後 1 年〜 2 年までの間、3 年〜 4 年までの間の計 2 回（各 1 個の提供）となります。

無事故ポイントバック

- 「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から 1 年間同一機種を継続してご利用された場合、「au ポイントプログラム」のポイントを 1,000 ポイント進呈します。
  ※ 1 年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

ディスプレイ	約 4.3 インチ 3D QHD
	960 × 540 ドット（16,777,216 色）
質量	約 171g（電池パック含む）
連続通話時間	約 450 分
連続待受時間	約 320 時間
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約 65mm × 126mm × 12.3mm（最厚部 13.5mm）
メインカメラ	500 万画素カラー CMOS カメラ（2D カメラ使用時） デュアル 200 万画素カラー CMOS カメラ（3D カメラ使用時）
インカメラ	130 万画素カラー CMOS カメラ
メモリ	ROM：4GB、RAM：1GB
無線 LAN	IEEE802.11 b/g/n 準拠
Bluetooth®	Bluetooth®標準規格 Ver. 3.0 ＋ EDR 準拠 HSP/HFP/A2DP/AVRCP/OPP/PBAP/FTP/HID

memo

- 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

この機種【ISW12HT】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.575W/kg です。
個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI 推奨の au キャリングケース F ブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。

KDDI 推奨の au キャリングケース F ブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から 1.5cm 以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ：
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページ：
  http://www.arib-emf.org/index02.html
- au のホームページ：
  http://www.au.kddi.com

※ 1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。

※ 2 携帯電話機本体を測頭部以外でご利用になる場合の SAR の測定法については、2010 年 3 月に国際規格 (IEC62209-2) が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です (2011 年 3 月現在)。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to

assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.575 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.761 W/kg.

Body-worn Operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not

comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID NM8CDMAHTI12. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引

と

に

ね

は

ふ

ほ

M

P

W

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング・逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.
米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
本製品は Adobe Systems Incorporated の Flash® Lite ™テクノロジーを搭載しています。

Java および Java に関する商標は、米国および その他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、HTC Corporation は、これら商標を使用する許可を受けています。
Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、ActiveSync®および Outlook®のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Adobe®、Reader® は、米国 Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
「Twitter」は Twitter,Inc. の登録商標です。
「Facebook」は Facebook,Inc. の登録商標です。

本書では各 OS(日本語版) を次のように略して表記しています。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Professional、または Microsoft® Windows® XP Home の略称です。Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basic の略称です。
Copyright 2011 Google Inc. 使用許可取得済
「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Android マーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Apps」、「Google Calendar」、「Google Checkout」、「Google Earth」、「Google Latitude」、「Google Maps」、「Google トーク」および「Picasa」、および

「YouTube」、「YouTube」ロゴは、Google Inc. の商標です。

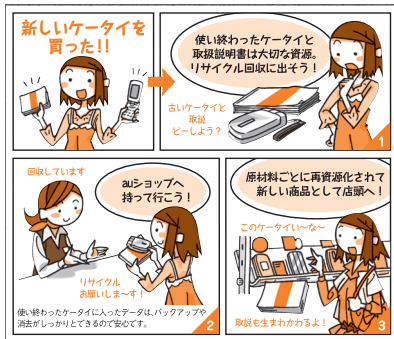
その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

OpenSSL License

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くの au ショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。
ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くの au ショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話•PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年9月第1版

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:HTC Corporation